

# 根来山げんきの森倶楽部

令和5年4月作業日誌

活動日：令和5年5月21日(日) 9:30～15:30 天気：晴れ 倶楽部員：43人

今月の活動は文字通りの五月晴れの中、安定のベテラン勢に加え、先月に引き続き新規倶楽部員の里山整備体験講座も併せて実施されました。4月から再開されたプレーパークもリニューアルのためのマンパワー必須！新しいメンバーの活躍が期待されますね。

## 炭材入れ作業

本日は、6名の参加で炭材入れ作業を行いました。炭材入れの注意点は、煙の通り道を作ること。窯の壁側では温度が低くなるため細い炭材を並べ、中心部は太い炭材を並べる事などを守りながら、前回煙突更新をした事により排気量が多くなった事で、今回は炭材を入れるだけ入れてみようと考えました。また1さんから分けて戴いた壺で壺炭が出来ないかテストをしました。

昼からは、炭材入り口を密閉し炭焼の準備は完了しました。煙突更新による温度変化が楽しみです。本日参加された方々お疲れさまでした。(須山 佳則)



## うるし谷整備

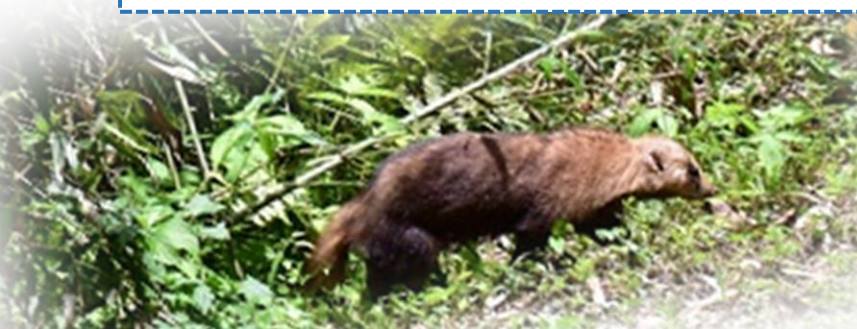
五月晴れの空の下、倶楽部員9名でうるし谷へ。男性は6名、女性3名で内1名は小学生。彼女たちは茶摘みをしてくれました。私たち男性は力仕事です。

茶摘みは根気のいる作業で私たちにはつらい作業ですが、彼女たちはけっこうな量を摘んでいました。

男性たちは、1名が斜面に植栽した樹木の手入れとして、草刈り機で草刈り。残り5名はこぶし川の護岸の補修です。私はフキが生えている場所の草取りも行いましたし、N氏とともに池の手入れもしました。その後、みんなで護岸手入れ用の石を集めて昼食時間になりました。

午後は男性4名になり、主に護岸補修用の石集めを継続しました。Y氏が写真撮影に来てくれて、4名でカメラの前で思い思いのポーズをとりました。

みなさん、お疲れさまでした。来月も忙しくなりそうですがよろしくお願いします。(吉田 恒臣)



## プレーパーク

今回の活動は、5月7日に行った打合せに基づき優先順位をつけ作業を進めた。

まず、5月1日の作業時に壊してしまったプレーパークに向かう歩道は、前もって青木さんが補修工事を完了させてくれてあり、林内作業車や運搬車を素人でも安心して通行できるようにしてくれていた。この場を借りてお礼申し上げます。

今回はプロ集団に集まってもらったので、プロの技を近くで見せてもらった。

そのお陰で少々不安のあったモンキーブリッジの補強等の作業がよく進んで良かった。

昼休憩時にはげんきの森産のお茶が振舞われ、美味しくたくさん頂いた。

子供たちが色々な事に興味を持ち経験できる場所になればと思います。

今後ともお力添えをよろしくお願いします。

(🍀 廣森 智彦)

### ◎モンキーブリッジの枝付き丸太でのはしと補強柱の設置

- ・チェーンソーでの現物合わせ
- ・礎設置前のならし方法
- ・補強柱の設置
- ・丸太と丸太のロープでの結束方法
- ・枝付き丸太梯子の設置
- ・枝付き丸太梯子の枝の間隔、長さの調整と切り揃えた枝の面取り

### ◎滑車ロープの発射台の作製

- ・旧発射台の取壊し
- ・新発射台の作製
- ・箱物の補強方法、手順
- ・寸足らずの板の延長方法

### ◎プレーパーク周りの下草刈り

### ◎増設枝付き丸太梯子の材料準備

### 懸案事項

- ・ブランコ設置場所選定と整備、作製
- ・新規スタッフの勧誘
- ・運搬用リヤカーの調達

コロナ以来停止していたプレーパークを4月から再開しました。

全く放置状態のプレーパークをリニューアルするための問題点がいくつかあり、まずは危険箇所の補修から始めています。

先月より、ヒノキを何本か切り出し、皮剥ぎをしたものを更にサンダーをかけ、枝の節を除き、きれいにした丸太をモンキーウォーク用に掛け替えています。丸太の先（末口）は枝を残して天然の梯子として利用します。今日は主にその梯子を設置する作業とターザンロープのスタート台の解体と新設作業をしました。新人研修の皆さんも加わり設置の作業を一緒に行いました。

途中、多勢の子供達が遊びに来てくれて滑り台を何度も滑っていましたが、滑り台のささくれが気になるどころです。細いヒノキが見つければ全て取り替えたいところです。

午後はスタート台制作係と天然梯子が足りなかったため、梯子探し係の二手に分かれました。大谷川沿いのタンコロ材集めをしている班に合流させてもらい。適当なヒノキを物色し2本をマーキングして間伐のお願いをしました。すでに放置されていたヒノキはその場で皮剥ぎをして持ち帰り、新たな梯子を掛ける予定です。

老若男女、げんきの森はマンパワーで成り立っていることを実感した1日でした。皆様お疲れ様でした。(岩田 禎子)



## タンコロ集め



伐採木の集材は、ボランティアが行う森林整備の中では知識や経験、技術を要する上、受け持ち場所や作業の内容によってはかなりの危険を伴う、体力的にもきつい作業であることを今回の現場でも感じました。

タンコロ用のスギ材を得るため、男性8人、女性2人の計10名で管理棟から作業道経由で往復3Kmあまりの大谷川林道沿いの現場へ向かい、架線を張り、ロープ・ワイヤー・滑車を駆使して対岸の丸太（適当な長さに玉切ったものもあれば、伐りっぱなしのもの

も・・・）を吊り上げ、林内作業車で林道まで引き出すという作業を繰り返し予定していた数量を確保、根来寺のほうから入ってきた軽トラには短めの材、林内作業車には長いもの、太いものを積み込んだ後、架線・道具等を撤収し14時過ぎに作業を終えました。

途中、ちょっとしたアクシデントやスタッフ各々の思いや感覚の行き違いがあったりもしましたが😊、私的には心地よい疲労感と頑張った感を抱きつつ帰路につきました。皆様お疲れさまでした。

（水口 和子）

## 里山整備体験講座

2023/5/21 に根来山げんきの森俱部に再入会致しました、森塾五期生の田屋和之と申します。

本日は、岡田事務局長の指導のもと私を含めて4人で指導を受けました。森塾一期生のSさんもいらっちゃって、少しビックリしました。

始めに鋸の使い方（鋸の刃は全体を使ってゆっくり引くように又鉋の使い方の説明もして貰いましたがあまり聴けてませんでした）

実地研修でプレイパークの周りのモチツツジとクスノキ科のヤマコウバシを切りました。足場が結構な斜面のため少し切るのに苦労しました。その後プレイパークの遊具を整備をされている、先輩方の仕事ぶりを見学させていただいて午前の作業は終了しました。

午後の作業は根来桜の発育を邪魔している周りの木々を伐採しました。チェーンソーも使ってアラカシやヤブニッケイの太い木も伐採したので、歩道からの景観が全く違って凄くスッキリしました。根来山げんきの森にはクスノキが増え過ぎているため随時伐採して行きたいとのことでした。今度の金曜日にはこれもヤマザクラの発育を阻害している二本の大木クスノキ伐採されるとのことで、ぜひお手伝いに伺いたいと思います。

その後午前中に作業をしたプレイパークでジップラインの出発台の製作現場の作業を見学しました。皆さん冗談を言いながら楽しそうに作業されてて、楽しくげんきの森倶楽部を続けられそうだと思います。（田屋和之）





ベニホタル

### げんきの森ベディア

～擬態される虫 ベニホタル～  
コウチュウ目 ホタル上科

ベニホタル科

梅雨の時期に現れる。蛍と近縁ですが、蛍のように発光はしません。

体内に毒素を持っており、鳥などの天敵から身を守っています。そのため、アカハネムシの仲間やベニコメツキに擬態されます。幼虫は夜行性で朽ち木内で他の甲虫類の幼虫などをえさにしています。



アカハネムシ

### ～事務局から～

先日は紀北地域を激しい線状降水帯が襲いました。各地に大きな被害が出ましたが、げんきの森でも遊歩道ののり面が崩れたり、炭焼き小屋に流れ込む2本の谷に土砂がたまり、あふれた水が広場を流れ、そのまま放置することができなくなりました。

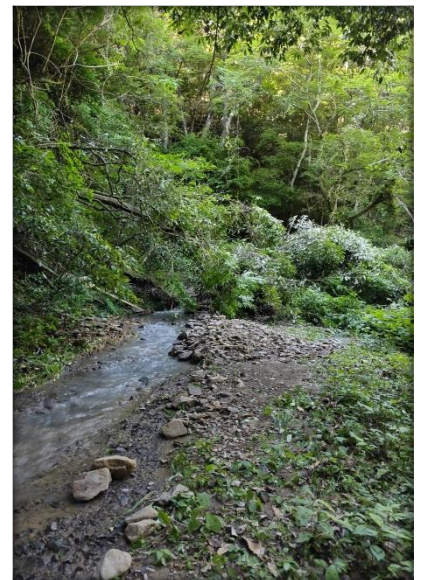
大谷林道でも一か所倒木と谷から流れ出た土砂で通行不能になるとともに、林道の路肩が流水で崩れ落ちています。

私たち人間は自然の力に抗うことは無理なので、起こった災害を地道に復旧することしかできません。地道に復旧を続けていくことが、将来の大きな災害を未然に防ぐことにつながると信じて、今回もしっかり復旧していきましょう。

みなさんのご協力をお願いします。

岡田 和久

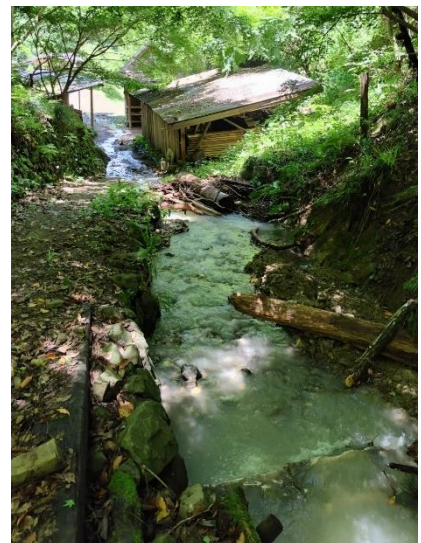
### 大雨の被害状況（一部）



大谷林道



炭焼き広場



炭焼き広場